

久保・長江中学校区に係る小中一貫教育校開校準備委員会（第8回）議事録

- 1 日 時 令和6年5月24日（金） 19:00～20:30
- 2 場 所 尾道市役所 4階 大会議室2
- 3 出席委員 久保小学校長、長江小学校長、土堂小学校長、山波小学校長
久保中学校長、長江中学校長
久保小学校育友会長、長江小学校育友会長代理、土堂小学校育友会長
山波小学校育友会長、久保中学校PTA会長、長江中学校育友会長
中濱教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長
安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
事務局10人

4 進 行

担 当	内 容
<p>小柳委員長</p> <p>総務等検討部 会長（土堂小 学校長）</p>	<p>（19:00 開会）</p> <p>1. 進捗状況の報告</p> <p>第8回開校準備委員会のレジメに沿って進行したい。それでは、委員長から第7回開校準備委員会以降の進捗状況の報告を行う。開校資料1になるが、尾道みなと中学校区小中一貫教育校開校準備委員会推進体制ということで、前回のときには総務等検討部会と生徒指導等検討部会、育友会PTA代表の人数が入ってなかったが、今回、各PTA育友会の方から人数等をお聞きして入れている。これで今年度の推進体制が整ったので、各所属で確認をしてもらいたい。続いて開校資料2であるが、現在の進捗状況になる。太字の部分が追加した部分になる。17番の学校規定品については、1項目だったが3項目に細分化している。今後も進捗状況を確認しながら進めていきたい。それから開校準備委員会日よりNo.8を令和6年4月30日に発行した。保護者の皆様学校関係者の皆さんも読まれていることと思う。紙媒体やコードモンで配付している。地域には回覧、議員にも提供し尾道市ホームページにも掲載をしている。</p> <p>2. 部会の進捗状況と今後の予定について報告</p> <p>○総務等検討部会</p> <p>4月24日（水）第4回、そして5月21日（火）第5回総務等検討部会を開催した。協議事項としては大きく3つある。1つ目、施設整備について、2つ目、移転に伴う引越し等のスケジュールについて、3つ目、校章、校歌、閉校記念式典についてである。</p> <p>まずは施設整備について、前回の4月19日開催の開校準備委員会において、新校舎に係る設計業務の現在の進捗状況を、パワーポイントのスライドを使用して説明を行った。総務等検討部会では、4月24日に</p>

部会で同様の説明を行い、部会后、説明資料を保護者へ配布し、育友会 P T A で意見を集約した後、5月21日の部会で意見の報告を受けた。施設整備については、部会で報告を受けた意見などの詳細について、このあと協議時間があるのでそちらで行う。

次に2つ目として、移転に伴う引越し等のスケジュールである。5月21日の総務等検討部会で現在の進捗状況の説明があった。5月14日に事務局と関係校事務職員との協議を行ったこと。尾道みなと小中学校で使用する物品について土堂小学校、久保中学校の物品をベースに使用したい考えがあること。夏の引越しは物品の廃棄、各校の旧校舎への移転が中心となりそうで、引越し業者の手配がなくなる可能性が生じている。令和7年、令和8年の尾道みなと小中学校の校舎レイアウトについて普通教室を含めて全体的なレイアウトを7月には決めていきたいこと。このことが、事務局より報告があった。教育委員会と学校中心に進めさせていただきたいことを部会で説明し、意見はなかった。

最後に3つ目、校章、校歌、閉校式記念式典についてである。第4回総務等検討部会では、校章は尾道市立大学にデザインを依頼していること。校歌の作詞作曲は尾道にゆかりのある方、縁のある方に依頼する予定であることと、校歌に込めたい言葉を4月26日まで募集中であり、集計後次回総務等検討部会で示すとの報告があった。閉校式については、3月2日(日)の(案)を削除し、新たに3月15日(土)を(案)に加えて、各学校、育友会 P T A には5月の連休後には希望を事務局に伝えるよう依頼があった。第5回総務等検討部会では、校歌に込めたい言葉の集計結果の発表があり、資料にあるように221件の応募があった。応募結果の内容については、校歌の作詞家予定者に、情報提供を行っている旨の報告があり、校章、校歌の委託契約は現在手続き中であるとの報告があった。閉校式については、総務資料5にあるとおり、3月8日(土)10時から久保小学校、13時30分から久保中学校、3月9日(日)9時から長江中学校、11時から長江小学校、13時30分から土堂小学校の順に2日間で5校開催する(案)が示されて了承された。以上が総務等検討部会の進捗状況である。

次に、今後の予定である。次回、総務等検討部会は、施設整備の意見について取りまとめる時間が必要なことから、7月に入っての開催予定としている。

○生徒指導等検討部会

生徒指導等検討部会長(長

生徒指導等検討部会の報告をする。第5回生徒指導検討部会を5月7日19時から久保中で行った。主には前回の部会において提案した内容

<p>江小学校長)</p>	<p>について各所属からご意見をいただいた。検討事項のうち、まず学校規定品については、中学校の制服をスーツスタイルとすることで確認をした。上着の下に着るものについて、前回の部会ではポロシャツ、ネクタイ・リボンなしとの提案を行ったが、育友会PTAのご意見がいろいろ出た。1つ目はカッターシャツ。2つ目はカッターシャツを基本とし、夏季はポロシャツの着用を認める。3つ目はポロシャツ。3つの案が出て、ここの部分は再検討する。その他の意見としては、「ポロシャツも指定品ではなくどこでも買えるようにして欲しいが、全校で揃えるときには1着は指定されたものを購入する。」「年間を通してカッターシャツかポロシャツかを選択でき、揃える必要がある場合はカッターシャツにする。」「一度カッターシャツで揃えて、そこから考えていくシャツ指定として統一感を持たせる。」などの新たな意見も出た。それを踏まえてこれも再検討する。小学校の規定品の意見としては、「女子のスカートはキュロットタイプのを各自で購入しても良いかもしくは販売店から購入できるようにして欲しい。」という意見が出て、これも業者を今当たっているところで再検討する。また、事務局よりスモックの胸ポケットおよび名札を通すためのループを付けた試作品を紹介していただいた。今回いただいた意見を参考に、学校で検討し、次回生徒指導等検討部会で提案をしていく。その他の規定品については、小学校、中学校とも学校が主体となって検討した後、生徒指導等検討部会で確認をすることで了承をいただいた。</p> <p>2つ目の小学校通学路の合同点検を踏まえた危険箇所の対策案等についてであるが、意見としては、「車での通学について送迎スペースを確保した上で認めてほしい」、長江小学校の通学路を裏道とした場合、安全確保として、「暗いこと土砂崩れの危険があること」、「高校生が自転車で通行していること」の3点をクリアする必要があるなどの意見が出た。</p> <p>3つ目の路線バスを活用した通学支援の在り方についても意見をいただいた。「長江通りの安全面が通学支援の理由であれば校区に限らず長江通りに係わる児童全員に支援する必要があるのではないか。」などの意見が出たが、これについては、学校と保護者、教育委員会での協議の場を持ち詳細を決定していく旨を提案し、了承をいただいた。また、中学校における自転車通学については大まかな方向性は了承いただいた。細かいところについては今後学校で検討をする。</p> <p>最後4つ目であるが、生徒指導規程についてである。今後、現在の生徒指導規程をもとに各学校教育目標の実現を目指し、児童生徒がよりよく成長発達できるよう規程を作る。示せる段階になれば部会で報告をする。</p>
---------------	--

<p>質問者 A</p>	<p>今後の予定としては、次回第6回生徒指導等検討部会の日程は検討中である。また、今後は学校で規定品等について検討を行っていくとともに、通学支援に係る協議の場を設定し、細かいところを決定していきたいと思っている。</p> <p>中学校の自転車通学についてである。今、長江中に通っている児童の中で東尾道方面から通っている児童がいる。この子たちは、東尾道駅から尾道駅まで電車に来てそこから歩いて、今の長江中学校のところまで通学している。結構しんどいだろうと思っているが自宅からの通学時間がすごく長い。久保中学校の場所まで歩くとなったらしんどいと思う。その場合、東尾道から電車に乗り、尾道駅で降りてそこから自転車で久保中学校まで通学するというのは可能であるか。</p>
<p>生徒指導等検討部副会長 (久保中学校長)</p>	<p>今、提案をしているのが自転車通学、これまだ検討の余地はあるが、現久保中学校の位置から半径2キロということで、提案をしている。尾道駅が2キロ外になる。と言うことは尾道駅の近くに住んでいる子は自転車通学が許可になるので、考え方としては電車で来られて、駅から自転車ということはあるだろうなというふうに思うけど、そういったところも、今後詰めていかないといけないと思う。</p>
<p>質問者 B</p>	<p>今、自転車通学の話が出たのでその関連です。今半径2キロ圏内は徒歩通学され、よりも長い距離だと自転車OKっていう話だったんですが、それは、道のりで考えていただくことはできないですか。半径2キロであっても道のりにすると結構な距離がある児童がたくさんいる。久保中学校は坂道もたくさんあるし道のりで考えていただきたい。</p>
<p>生徒指導等検討部副会長 (久保中学校長)</p>	<p>生徒指導等検討部会の中でも道のりを希望するというご意見は出た。これもご意見を踏まえながらまた考えていく。ただ、道のりになると今、久保中学校区で新高山地区に住んでいる方も全員徒歩だが、この道のりにすると2キロを超えるということで、自転車に切り替えないといけない問題もある。新高山を認めていないのはやはりそこから降りてくる時の安全性の問題とかいうのがある。そういった観点からも検討していかないといけないので、道のりにすぐなるかどうかということとはわからない。ただ検討はしていきたいと思う。</p>
<p>教育課程等検討部</p>	<p>○教育課程等検討部会 第4回検討部会を5月7日に行った。児童生徒間の交流の年間スケジ</p>

<p>討部会長（山波小学校長）</p>	<p>ルールと教職員の授業交流の日程について現在も続けて調整をしている。これに関わって、開校資料6縦5の検討事項についてお伝えする。</p> <p>（1）児童生徒交流の内容や時期について、現在、ある程度固まったものをこの資料の一番後ろにつけてある。この資料を見ると、2年生のところが調整中というふうになっているが、実際問題ずっと連携は続けているので、2年生が全く白紙ということではなくて、2年生に関しては、生活科の「世界で一つ私のおもちゃ」という単元で授業交流をしようということで計画の方は進んでいるのでこれが全部ということではないということをお伝えしておきたいと思う。各学年において教科、単元、場所など概ね決まっている。回数としては今のところ全学年2回を考えている。ただし現5年生については、体験活動、「山・海・島」体験活動で3小が交流を行う。それに加えて山波小を含めた4小が2回の授業交流を行い、2小1中となったときの最高学年となる現在の5年生が、しっかりリーダーとして育っていくように今考えている。今日の資料で付けているのは一部ということをご理解いただきたい。</p> <p>続いて（2）授業交流の日程調整について、こちらの方も先週小学校3小の運動会が終わり、明日、山波小学校の運動会が終わる。これを受けて早速6月からは、教職員間の授業交流を入れている。6月5日（水）には久保小学校で算数科の授業を見て勉強させていただく。続いて6月13日（木）には久保中の社会、同じく13日（木）に長江小学校の総合的な学習の時間というふうにこちらの方の日程もどんどん調整が決まってきているので、全員が勉強に行く日については、1回授業をカットして動くということもあろうかと思う。</p> <p>最後に今後の流れについて、今の1番と2番のところが概ね目途がついたので次は、統合する3小学校の実践を元に、特にこの学校独自の内容でやっている総合的な学習の時間の内容をしっかりと検討していかないといけないということと、それを決めながら中学校における総合的な学習の時間においてどのように接続していくかというあたりの内容をしっかりと吟味していきたいと考えている。また先日のPTAの総会研修会の中で教育長さんが述べられていたが、尾道学というところ、この辺りもしっかりと勉強して新しい学校でどのような活動ができるのか。また総合的な学習として何ができるのかというところの、具体的に踏み込んでいきたいと考えている。</p>
<p>事務局（宮崎</p>	<p>3. 報告事項について ○校章・校歌について 尾道みなと小学校・尾道みなと中学校に込めたい言葉を募集した。開</p>

<p>学校経営企画 課企画振興係 長)</p>	<p>校資料4 総務等検討部会第5回の資料の中で、校歌に込めたい言葉の応募状況等を示している。全体で221件の応募者数があった。次のページに生徒児童からいただいた応募の言葉理由を書いて載せている。次に保護者、次に教職員、次に地域等の応募の状況を示している。そのあとに全体のまとめとして言葉を票数順に示している。この一覧は、校章の制作者や校歌の作詞家に情報提供をしている。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>それではここで校章、校歌の制作を依頼している方を紹介する。校章の制作者は尾道市立大学芸術文化学部美術学科の〇〇〇〇に、校歌の作詞者は小中学校共に、尾道市出身で作詞家の〇〇〇〇氏に、校歌の作曲者は、小学校は尾道市在住、〇〇〇〇氏、中学校は尾道市在住、〇〇〇〇氏に依頼している。作詞者、作曲者共に、尾道市内の市立小中学校や県立高等学校での校歌を作られた実績がある。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>4. 確認及び協議事項について</p> <p>○閉校式・閉校記念事業の開催日について</p> <p>市教育委員会が主催をする閉校式の開催日時を確認する。先ほども報告があったが、各学校や、育友会PTAと連携し、令和7年3月8日(土)に10時から久保小学校、13時30分から久保中学校。令和7年3月9日(日)9時から長江中学校、11時から長江小学校、13時30分から土堂小学校で開催する。これで確認をさせていただきたいがよろしいか。また、どこでやるかというのは希望も聞いているがそれらも含めてまた発表していきたいと思うし、それに合わせた地域やPTA育友会主催の閉校記念事業の実施時間や内容等について、事務局に決定次第、知らせてほしい。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>○学校規定品について</p> <p>先程、生徒指導等検討部会から提案があったとおり、今後は制服体操服以外の学校規定品については、学校が主体となって検討し、育友会PTAと調整していくこととしたいと考えている。なお最終決定については、生徒指導等検討部会を経て、開校準備委員会で決定するということを確認させていただきたいと思うが、よろしいか。今後詳細については学校が主体となって育友会PTAと調整をしてほしい。ただし最終決定は部会を経て、この場であるということは確認させていただく。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>○通学対策について</p> <p>生徒指導等検討部会長から提案があったとおり、通学対策特に路線バ</p>

<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>スを活用した通学支援については、今後は関係小学校3校による協議の場を持ち、詳細を決定していきたいと考えている。なおこちらも最終決定については、生徒指導等検討部会を経て、開校準備委員会で決定することを確認させていただきたいがよろしいか。路線バスを活用した通学対策については、小学校3校、育友会PTA、教育委員会で協議を進めさせていただく。なお先程あった自転車通学の件についても、個別にいろいろ対応する案件も出てくると思うし学校が一番詳しいと思うのでこれも学校、育友会PTAで詳細を詰めていただければと思う。</p> <p>○施設設備について</p> <p>5月21日総務等検討部会において、新校舎設計に係る業務について、各育友会PTAでまとめた結果の報告を受けている。開校資料7-1、当方で取りまとめをして、文字にしている。一応まずは左側、5月21日検討部会でのコメントを読み上げて、各学校ごとの意見を共有する。</p> <p>久保小学校からの意見である。2点あって、「以前の久保小学校にも茶室があったので、新校舎にも作ってほしい。尾道にはその文化が根付いており、子供たちに地元の文化を伝えていきたいと思っている。長江小学校にも茶道クラブがあると聞いている。」という意見が1つ。2つ目が、「小学校の特別支援学級の教室が1階にあるというのが気になった。交流がスムーズに出来なくなり、分散された感じにならないか心配。」との意見をいただいた。</p> <p>長江小学校からの意見である。「立地部分も含め検討して欲しい。新校舎になったときの放課後児童クラブについて、どの辺の教室を使用できるのか、答えられる範囲で教えて欲しい。特別支援学級同士の交流について、するかしないかを含めて教えていただきたい。そして監査請求が出たが、話が一度止まるのか、並行して進めるのか教えていただきたい。」との意見をいただいた。</p> <p>土堂小学校からの意見である。複数意見が出ているので、大まかに2点申し上げる。1点目は、「学校がイエローゾーンにかかっている校舎を使用するという点がやはり気になる。」という方が複数いる。もう1点目、「複数学級を目指して統廃合した経緯があるので、計画通りに進めて欲しい。」という意見が複数あったということ。紙ベースで意見をいただいている。</p> <p>山波小学校からの意見である。山波小学校が主に関わるのは中学校の部分になるということで、中学校の意見について聞いた。「みなと中学校の特別支援学級数4に対して、小学校の特別支援学級数2が少ないので</p>
-----------------------	--

はないか。」という意見、「中学校のレイアウトで、図書室を中心としたコンセプトがあるが、図書室は本来、調べ物をしたり読書をしたり、静かに過ごす場であるため、1階の中央に配置するよりも端に配置する方がいいのではないか。」というご意見、中学校の教室の配置について「1学年をワンフロアに配置するのであればトイレも3学年分配置した方がいいのではないか。」「フロアに全学年がいると、受験生の配慮等の懸念があるかもしれないが、受験生は翌年に控える受験生への心構えができるのかなと思うので、全クラスあるからこそ、お互いに気を使うことができるのではないか。」というご意見もあった。逆に「受験生は周りがにぎやかだろうと集中して勉強してほしい。」「トイレが各学年ごとに設置できればワンフロアの部分については賛成できる。」というご意見もあった。

次、久保中学校からの意見である。「中学校の場合、理科室が複数必要ではないか。それからカウンセラー室が必要ではないか。また、生徒指導用の部屋があった方がいい。家庭科室は被服室と調理室に両方が必要ではないか。」というご意見。「同じフロアに全学年配置するのはどうなのか。それから、今ある技術室を残すと教室移動が5分以上かかるのではないか。そういう意味で、技術室を校舎の中に入れる設計がいいのではないか。」という意見。「体育館を残すということになったときに、緊急車両がちゃんと入るように確保してください。」という意見をいただいた。

長江中学校からの意見である。まず「1学年複数学級の適正規模の学校をつくるというコンセプトだったと思うが、例えば引越しとか学校選択制の希望が増えている。理想の複数学級ができる可能性があるにも関わらず、通常学級の10クラスしか部屋を作らないのはおかしいのではないか。」という意見が出ている。「小学校のプールを屋上に設置することについて、旧長江小学校のプールでも日陰でさえ、気温や水温が上昇してプールに入れない日があったにも関わらず、屋上に作ると子供たちが入れない日が増えるのではないか。」ということ。体育館が1階以外だと、災害があったときに高齢者とか地域の方々が避難するのがなかなか難しいのではないか。」という意見があった。「新校舎建築に際して、学校行事等に保護者等が学校に行くことも多いと思うので長江中学校には長江小学校もありますが、駐車ができない状況というのが今あるということで、駐車場の確保をお願いしたい。」ということで詳細を紙でいただいた。ここについては資料の配付をもって報告、共有とさせていただきたいと思うのでまたご一読ください。ということで、報告とする。

中濱教育総務部長	<p>先程の説明の中で、住民監査請求についての話があった。これについては心配している方も多いと思うので補足説明をする。5月8日、尾道市監査事務局に対して新校舎の建設費差し止めを求める住民監査請求の提出があった。主な内容は教育委員会が新校舎の建設ありきで説明会において虚偽の説明をしてきたという主張。また、既存の校舎の活用を比較検討しなかったという主張。これに対して教育委員会ではこれまでの説明会で示した資料を交えて丁寧に対応してきた経緯や、また新校舎を選択した根拠などについて監査委員に説明し、粛々と対応する。また、そもそも学校再編と開校に向けての予算、これについては昨年度の尾道市議会において、承認議決いただいている案件であるので、これに関する事業を進めていくことには全く問題はないものと考えている。</p>
事務局（石川庶務課管理係長）	<p>それでは意見の報告を受けて次の協議事項報告に入るが、総務等検討部会においてこの意見をいただいて可能な限り本日簡単にコメントしながら、報告するという事にする。改めて保護者の意見をまとめると、小学校については大きく4点の意見に集約されると考えているので、まとめを発表しながらその見解を簡単にコメントする。</p> <p>1つ目は特別支援学級への配慮。このあたりを重視してくださいという意見があった。1階の場所とか通常学級から離れているとか特別支援学級の場所、そして設備、クールダウンの場所が必要であるとか、交流がどうなるのかなというふうに聞いている。場所については今後、校長先生はじめ学校側との協議で支障のないような配慮を検討させていただき、設備についても、当然、クールダウンができるような設備を入れていく考えでいるので、どのようなことになったのか、次の図面等が出来たところで報告させていただく。</p> <p>2つ目は、プールについての意見が多くあった。まずは屋上にプールがあるので柵などの安全対策はしっかりして欲しいということなので事故がないような配慮をする。あとは温度が高くなるので使用できるかどうかという不安があるというようなところについては、何かできる策があるかどうか、検討させていただく。</p> <p>3つ目は、放課後児童クラブについての意見があった。特に場所である。新校舎になったらどこにあるのか、以前のスライドでも説明させていただいたが、現在のところ、新校舎内へ最初からの児童クラブは設置していない。空き教室が出来たときにはそちらに移動するという事で考えている。令和7年度開校時、長江中学校の校舎の中で運用を始めようと思っているが、この意見を踏まえて改めて見解をまとめる。そしてイエローゾーンを外してくださいということなので、今一度使用する部</p>

屋がイエローゾーンから外れているかというところを検討し、見解を報告する。

最後、小学校の4つ目でいくと学級数。特に特別支援学級の数が少ないということ。まずこちらについては、令和6年5月1日現在の調査結果というものが現在出ている。当初、2と申し上げていたが、数字上今3という数字が出ている。3で足りるのかというと特別支援学級が増加している傾向が出ているので、そのあたりの数字も見ながら増やしていくという方向性が必要ではないかというのは事務局も感じている。少なくとも数字上増えてきているので、その数字に対応した校舎の設計案の見直しを開始しているところである。現在まだ示す図面はない。設計会社との打ち合わせの中で、6月いっぱい図面上がってくる。それを踏まえて、7月の総務等検討部会で、令和6年5月1日現在の調査に基づいて変更の案を示す考え。合わせて10学級でということと、いざ12学級になったときにどうするのかというようなコメントもいただいているので、このような運用案ができていますよと報告できればいいと思っている。以上がまず小学校の主な意見。そして中学校の方で出てきた意見であるが、被服室と調理室、理科室が複数必要ではないかということである。このあたりは使用頻度等も含めて再度検討させていただくが今の多目的の教室の特別教室棟のゾーンのスペースの関係もあるので、全部願いを叶えるわけにいかないかもしれないが検討し、回答する。そして、全学年同一フロアについてのご意見である。他方面から意見が出ているので当方も考えるがトイレが3ヶ所ならOKというような意見もある。その辺を参考に検討する。そして、緊急車両が入るようなところについては、入るような措置を念押しで確認をしておく。そして図書室に関する意見があったと思うが、図書室の環境については全体を見ながら設計の確認をするが、基本的には静かに勉強できるスペースもあればそこを中心とした調べもの学習ができるようなゾーンの創出両方を兼ねるように思っている。静かな環境がこの辺にあるというのが見えるように検討してみたいと思っている。お答えできることを簡単に口頭で、報告した。検討すべきところは7月の総務等検討部会で報告する。

学校の教職員からの意見も取りまとめをした。実はその取りまとめについて、本日協議をさせていただいたばかりで手持ちの資料がない。ただし、口頭で簡単にこんな意見が学校から出ましたということ共有する。

小学校についての意見である。大きい面では全体としては保護者と重なったと思うが、簡単に一項目ずつ整理し主なところを伝える。まず小学校、「北高側に校舎を配置したときに少し教室が暗くなったり、周囲か

ら防犯上の問題、心配がある。例えば墓の方から入ってくる方への対応という点で北高側に配置した場合の防犯上の配慮」というのを1つご意見としている。次に、「特別支援学級の教室は通常学級と同じ階にあってもいいのかな。」というようなご意見もいただいているところと、「特別支援学級の教室がやはり足りないのではないか。」というようなご意見をいただいている。そして、「トイレの数についても少し足りるかどうか。」ということもあるので、足りているというところを再確認はさせていただく。あとは「英語教室の専科教室を設けていくのに、教科の特性上にぎやかなので、1階がいいのかな。」というご意見、そして、「校外であるが学校用の畑もあってもいいかな。」ということもいただいている。その他の意見として「小学校については、収納ロッカーをこれから整備していくことになるが、カバンとか習字道具とか体操服とかいろいろ入るように、現状のものより少し大きい方がいいのかな。」というようなご意見もいただいているので、このあたりは新しいものを作っていくので、なるべくそのような課題が解決できるように確認しながら進めようと思う。あとは、「長江中学校のグラウンドが少し土の状況もあまり良くない」というようなこともあるので、土の入れ替えをやってみてはどうか。」という意見もいただいているので、そのあたりも確認していきたい。そして通常学級のレイアウトについてであるが、「現在の案は3階に3学級という配置がある。高学年が行くことが想定されるのに6年生5年生たちから4学級あるので、できれば同じ学年同じフロアになるように」というようなことで配慮してもらえないだろうか。」そして「来客と児童の玄関は一緒ではなく別にならないだろうか。」というようなご意見をいただいている。プールについてもやはり温度等の悩みがあるというのが小学校についての確認である。特別支援学級数のコメントも出たが、通常学級の教室にも余裕が欲しいというようなコメントもいただいている。

中学校についての意見は、久保中で出た意見と重なる。「理科室が複数欲しいということ。被服室と調理室が必要であるということ。そしてやはり生徒指導上、カウンセラー室として小さい部屋が1つ2つあった方がいい。」というような意見。少しそういうスペースが作れるよう再確認をしてみたい。その他のところでいくと緊急車両のこともいただいている。多少働き方の観点もあり、「職員の休憩スペース等もあった方がいいのではないか。」ということである。そういうところが中学校の大きなところでそれ以外でいうとやはり駐車場。「行事の時の駐車場も必要」という意見をいただいた。総務等検討部会等で紙ベースにして、今度は回答とも一緒に届けるかもしれないが、わかるようにさせていただきたいと思っている。以上学校の聞き取りの結果の意見というものを共有させて

<p>質問者C</p>	<p>いただいた。本日報告を行った意見について回答を踏まえて、7月の次回総務等検討部会で検討することを考えているので、その結果を開校準備委員会の方で報告協議をさせていただく。主に現状の報告が多かったと思うが、事務局からの説明ということとする。</p> <p>保護者や教員に対して聞き取りをしているが、中学生自身に聞いてみるのも手なのかなと思う。大変だろうけどレイアウト等見て、私が関わってるのが中学校の方なので、子供とよく話をするが、お腹が痛くなっても教室の近くでトイレに行けないとか、体育館のトイレに行くんだと離れてるからゆっくりトイレに行けるという環境。年頃の子たちなので女の子だと生理に急になってお腹が痛い、どうしようとなったときに、なかなかやっぱり教室の前を通過とか、教室のすぐ隣のトイレではゆっくりできないとか。男の子でもお腹が痛くなってトイレに行きたいっていう状況になったときすぐ行けるいい環境のトイレっていう要望とか意外とある。だから先生を通じてでもいいので、学校で不便なことがないとか、今の状況でこんないいことあるよとか中学生なのできつと出ると思うので、もしよければ聞いてほしい。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>今ここですぐやりますとか、どうでしょうかというのはないんですが、教育委員会の中でも話してみたいし校長先生方とも意見交換して意見の聞き方ということも考える。紙を配ってやるとかいろいろあると思うので確かに普段一番使っている子供たちが不便なところとかは感じていると思う。そのあたりどのように取りまとめるのか、まず取りまとめを行うのか、ご意見として伺って審議させてほしい。</p>
<p>質問者D</p>	<p>3点ある。1点目が6月中に図面を業者の方に作ってもらって7月に総務等検討部会で話をする、その後の開校準備委員会で決定するっていうことだと思うが、それでスケジュールは間に合うのか。もしここが駄目だっという話になったら変更の余地はあるのか。</p>
<p>事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>意見を汲んで進めるように考えているので全く変更できませんということはない。ただ、いただいた意見の中である程度もう決めていける部分もあると思っているので、我々として進めるべきは進めるが、その意見聞きながらこれは見直しが必要というところについては、変更していくというスケジュールになる。</p>
<p>質問者D</p>	<p>もう一度確認させて欲しいが、小学校にはエレベーターは付いている</p>

事務局（石川 庶務課管理係 長）	<p>のか。あと災害のときの自家発電は付いているのか。</p> <p>まずエレベーターは付いている。自家発電については、そこまで決定のところまで整理がついてない。要望の中で以前この会の中で防災面の配慮も欲しいというような意見をいただいているが、どこまでのものが 必要か整理も必要であるし、まだ何ができるのかというのを決めていないのでそのあたりどういう面が整備できるのかというのは、報告する。</p>
質問者D	<p>災害が多くて、教育委員会としては教育のことが大事なのだろうが、地域の方にとっては災害はとっても身近なことで、体育館が上の階に行くなら、なおさら他の災害担当部署と連携して、今だったら新しいものを作るので何とでもなると思うので予算のことはあるだろうが、やはりそこは教育だけじゃなく考えて欲しいと強く思う。</p>
事務局（石川 庶務課管理係 長）	<p>建物の大きさ、部屋のレイアウトなどを決めている段階である。その次のステップがいろんな設備の中身になってくるので、その段階で検討の中に乗せていきながら、どういう結論になったかというような報告をさせていただく。当然そういう要望があったところを踏まえながら検討させていただく。</p>
質問者D	<p>3点目である。学級数であるが、学級数を12学級というのは検討していただけるという話だが、先日、市P連の総会に行ったときに教育長のお話をお伺いして、私の受けた印象だとこれからの時代はもう単学級になっても致し方がない。なので総合的な公共施設を一緒に入れたりとかそういう学校にする必要があるのじゃないかっていう話のように私には受け取れたが、その辺の教育委員会の考え方をもう一度教えていただきたいのと、部屋をつくるのは多分簡単だと思う。複数学級にするつもりがあるのかどうかというところ、努力していただけるのかどうかというところをもう一度確認したい。</p>
小柳委員長	<p>教育委員会として今の再編計画では複式学級の早期解消、それから複数学級化ということを謳って平成23年12月から、学校統合を市内全域を対象としてやってきたので、現状計画を維持しているということから、やはり複数学級を今、計画の中で進めていきたい。3小学校で当初複数学級化を見込んでいたが、現状、年々減少傾向にもあるということで複数学級化が、かなわない学年も出ることが予測される。学校選択制度をうまく使えばいいじゃないかっていうこともあるが、市内平準化し</p>

た制度の中で、もしかしたら2学級になるかもしれないし、単学級のままになるかもしれないということでここはかなり不透明である。あと特別支援学級に入級されるお子さんも年々増加傾向にあるから例えば特別支援学級に行くお子さんが増えれば、通常学級のお子さんは減るっていうことになる。その兼ね合いで、単学級になるのか複数学級になるのかというのは非常に、微妙なところにある。だから私たちもあらゆる可能性をシミュレーションしながら、小学校12学級の普通学級を作っていくきたいということで最終調整をしている。先般教育長が市P連で発表している中身であるが、今後、今の統合計画を維持するのはもう不可能だと思っている。複数学級を市内全域で維持していくのは急激な子供たちが減っている中で、中3は920人ぐらいなのだが、中2はまだ1000人いる。だけど、もう皆さんご存じのとおり、出生数というのは500人ちょっと昨年度520人ぐらい、そういった状況でいうと、市内全域の学校の在り方というのを検討しなければいけない。今検討をし始めているが、校舎の老朽化、地域性、防災面のこと、新しい校舎を建てた場合に複合化できるかとか様々な角度から検討が必要であるので、少しお時間をいただきながら、進めていきたい。ただやっぱり地域でどうしても統合できない距離感であるとか、様々な諸条件もあるので、複数学級以上で維持できる学校もあると思うし、少人数で学校を維持する、例えば浦崎地域など統合というのは適わないと思うから小規模になったとしても、やっぱり維持していかなければいけないとか、様々な地理的条件等も勘案しながら計画を立てさせていただいている。現状とこれまでの経緯それから将来的なビジョンも含めて、先般教育長が市P連の場を借りて、今後の尾道の教育の在り方について説明させていただいた。

質問者E

先程ご説明があった内容で、この新しい学校ができて校舎ができたときに学校選択制っていうのは戻してもらえるか。そこはまだ何も決まっていけないのか。

小柳委員長

学校選択制度が戻るといえるか今各校5人枠で行っているが、今度は1つの学校になるので、1つの学校と同じ条件になるので学級数が増えない範囲で言ったら10人であるが、今35人学級であるので、30人を超えて35までのところだったら5人枠でもはまらないから、10人枠にして学級増という募集をかける。これは市内全域同じルールである。であるが募集したが来ないっていうこともあるので、10人募集して10人が来るとは限らない。今際である。来年度入学してくる子供たちもそういった状況の中でやっぱり元に戻るといえることになるが、そういっ

<p>質問者 F</p>	<p>たあらゆる可能性も含めて、複数学級数になれば、当然複数学級化していきますし、ならなかった場合には、仕方がないということにはなるが、私たちも可能性を含めて12学級の教室は用意していきたい。</p> <p>まず先程、小柳部長は市内全体の学校を平準化したい、そうおっしゃったが、統合するとき新設校、統合校ができますという話のときに尾道をリードするような良い学校を作ってそれに他の市内全域の小学校のレベルもあわせて上げていく、という話を私は聞いて、その1つで、複数学級が適正規模であるというメリットを教育長さんも強く主張されていた。だから、そこは本当に少子化の問題もあるので、難しいとは思いますが、最初に、描かれていたような理想の学校が作れるように、保護者も何度も説明会でそのことに聞いてそういう学校が出来という希望を持っていたので、最初におっしゃっていたような素晴らしい学校ができて、それを他の市内全域の学校も続けて全体が良くなるようになっていうそういうイメージで進んでいっていったら嬉しいと思う。</p>
<p>小柳委員長</p>	<p>まさに、おっしゃるとおりだと思う。説明会等で、私たちの説明をお聞きになられて十分納得されたかどうかは、それぞれ温度差はあると思うが、こうして今、開校に向けた準備に進んでいるということであるから、私たちも、やはり市内をリードする学校にしたいということは思っている。ただ義務教育であるので、市内どの学校に通っても、子供たちに同じ学力とか、学びを提供するというのは私たちの務めである。今回の新たな小中一貫教育校がやはり尾道市内のモデルになる学校となるように、また他の学校も同じように、教育条件を整えて進めていけるそういった尾道全体の教育の質を上げていく、そういう学校にしていきたいという思いは今も変わらない。これからも変わらないのでこういった教育環境、新校舎建設も含めて、また教育内容も、いろいろ気にされていると思う、どんな教育をしていただけるんだろうかっていうことでそれらもしっかりと学校とも話をさせていただいて、本当に子供たちがこの学校で学んで良かった、保護者の皆さんから通わせて良かった、地域の方から誇りに思ってもらえるような学校を創っていきたく思っているので、また一緒に考えさせていただきたい。</p> <p>本当に施設整備については、皆さん関心が高いということで保護者の皆様から短期間ではあるけれども、たくさんの意見をいただくことができた。多分ここにお集まりの会長さん等は大変なご尽力をいただいたんだと思う。本当に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。</p>

小柳委員長	<p>5. 議決事項について</p> <p>○尾道みなと中学校の新しい制服について</p> <p>中学校の制服について、生徒指導等検討部会から報告があったとおり、スーツスタイルとすることによろしいか。それではスーツスタイルということにさせていただく。ただまだ課題としては、中がカッターになるのか、ポロシャツになるかというような問題もあるのでまた今後詰めていっていただきたい。</p>
安保副委員長	<p>6. 各部会への検討依頼の内容について</p> <p>各部会の検討依頼の内容について、継続して検討していただくものということで、前回と同じ項目になっている。まず総務等検討部会については、施設整備について、こちらは令和7年度の開校時の校舎のレイアウトも含めて、新校舎の施設整備について検討の方を引き続きよろしく願います。また、開校に向けた引越し作業等のスケジュールについて、それから校章、校歌についても検討の方よろしく願います。</p> <p>次に生徒指導等検討部会について、学校規定品について学校の方で検討していただきながら部会で確認、そしてまた開校準備委員会での提案の方よろしく願います。通学支援についても本日もお話があったが、路線バスを活用した通学支援について引き続き検討をお願いする。生徒指導規程等についてもよろしく願います。</p> <p>教育課程等検討部会については、児童生徒間交流について計画が進んでいると思う。次回の開校準備委員会的时候には、いづらか交流をしているところもあると思うが、引き続き教育課程、教育内容等についての検討をよろしく願います。</p>
小柳委員長	<p>7. 情報交換</p> <p>前回時間がなかったので省略した。今回もあまり時間ないが、10分程度でも時間が取ればと思う。育友会PTA会長さんのところでは、閉校記念事業についてとかPTA組織のことは課題に上がっていました。子ども会の組織とか運営状況なんかをどういうふうに整理していくかというようにもちょっとお聞きしておりまして、今日は短時間であるが、情報交換していただければと思う。</p> <p>(情報交換の場10分程度実施、発表はなし)</p>
小柳委員長	<p>8. 第9回開校準備委員会での協議事項</p> <p>第9回開校準備委員会での協議事項を確認したいが、今レジメは空欄になっている。不透明なところもあるので、また次回のレジメのところ</p>

事務局（宮崎 学校経営企画 課係長）	<p>で出させていただきたいと思っている。</p> <p>（次回の開催日の提案）</p> <p>次回開催日は令和6年6月24日（月）19時から、市役所2階多目的スペース2で行う。</p>
質問者G	<p>閉校記念式典について、式典への招待者とか、その扱いとかでどこまで育友会が関わるのかっていうところをもう少し明確に教えていただけたらありがたいと思う。今のところはどのようなふうな考えか何かあればお示しいただきたい。</p>
小柳委員長	<p>これは市教委主催の閉校式の方か。閉校式についてはどのぐらいの来賓を教育委員会が呼んでいるかというのは、整理をして情報提供させていただきたいと思う。またメンバーがそのまま移動するような感じになるので、それぞれ学校単独で収まる場合は学校でリストアップしていただかないといけなくなると思うが、全部を渡り歩く人は教育委員会で整理をして案内を出させていただく。そこらが一つの線引きの部分だとは思う。例えば学校だったら地域の方、それから歴代の校長先生であるとか、同窓会のメンバーとか、そういったことになってくると思う。例を示させていただく。これも宿題として預からせていただく。</p> <p>（ほかに質問なし）</p> <p>以上で閉会する。本日はありがとうございました。</p> <p>（終了 20:30）</p>